

## 2008年度第4回名古屋 NGO センター常任理事会 議事録

日 時：2008年9月2日（火）19：00－21：20

場 所：名古屋 NGO センター

出席理事：小池、西井、桃井、龍田

議 長：西井 司 会：小池

議事録作成人：龍田 議事録署名人：小池、桃井

オブザーバー：インターン：笠野 Nたま：浦野、松岡 事務局：村山、門田

### 【協議事項】

#### 1、正会員審査（「不戦ネット」）

事務局の説明に従い、不戦ネットから提出された書類を回覧し、問題がないことを確認した。正会員加盟には、事務局長等の事前面談および理事会での承認が必要のため、9/13の理事会以前に、事務局長あるいは事務局次長が面談し、理事会で承認を受けることとした。

#### 2、ペンシャワール会の事件への対応について

ペンシャワール会の伊藤和也さんの訃報に対して、以下の2つのステップで、名古屋 NGO センターとして、哀悼と共感の声明等を出すことで合意した。

- 1) 至急の処置として、9月6日(土)までに、ペンシャワール会名古屋およびペンシャワール会本部に対して、哀悼文を送付する。
- 2) 9月20日頃までに、名古屋 NGO センターとしての声明を出す。内容としては、伊藤さんおよびペンシャワール会へ哀悼と労いの意を示し、現地の住民とともにある活動の維持を訴えるものとする。文案は小池事務局長が作成。理事会や MLなどで討議し、加盟団体にも賛同を呼びかける。

### 【報告事項】

#### 1、各事業進捗報告（Nサポ、コラボ、Nたま、企業調査等）

事務局から主な事業について、別紙資料に基づき、進捗報告を受けた。主な内容は、以下の通り。

##### 1) ワールドコラボ

- ・ワクワク体験村の村づくりワークショップの第1回を開催（参加者6名）。参加者に、内容の意図がうまく伝わらず、今後修正を要する。第2回を9/7に開催予定。
- ・課題として、20周年のステージ企画の詳細が決まっていない。

→この件に関して、小池事務局長より、「ZIP-FMのパーソナリティのジェームス・ヘイブンス氏が、国際協力に関心がありそうなので、協力を要請したい」との提案があり、これを了承した。

##### 2) 企業アンケート

- ・アンケート内容を9月6日までに最終化。愛知県下700社の企業に郵送。来月から集計作業に入る。インタビューなどもあり、多忙となる。

### 3) 国際理解教育セミナー

・本年度は、2009年1月31日(土)に開催。名古屋 NGO センターの担当する分科会では、N サポで作成している日本飢餓対策機構のワークショップを実施する予定。

### 4) N たま事業

・8月30日に入学式を実施。A コース (インターンあり) 12名、B コース (インターンなし) 5名の計17名が参加。

### 5) N サポ事業

・CDIC の案件について、8/16に実施。海外事業の方向性、資金調達、企業との連携の面での要請である。今後、取り扱う内容を絞り込む必要がある。

### 6) ステファニ・レナト賞実行委員会

・今年は4件の応募があった。過去2年の応募団体とあわせて、実行委員による予備選考(9/5)を経て、9月30日の選考委員会で、受賞者を決定する。

## 2、中期計画集会 (8/30-31) の共有とフォローアップ

龍田理事より、標記集会について、以下のように報告があった。

(報告内容)

8月30日、31日に、名古屋 NGO センター中期計画作成に向けて、「これからの NGO の取り組みを考える集い 2008」を開催した。参加者は、加盟団体、N たま、名古屋 NGO センター関係者などで、1日目 50名ほど、2日目 30名ほどの参加があった。特に、市民が主体となる社会作りを目指して、

- ・政策提言の重要性。
- ・名古屋 NGO センターの委員会間、委員会と加盟団体との連携。
- ・加盟団体の連携 (経験交流など) の場の提供。
- ・地域との関係強化。

などが、新しい提案としてあがってきたことが注目される。この集いを受けて、加盟団体の連携の場作りが始まっている。9/16に第一回勉強会が、チェル救で開催予定。

今後は、委員会、理事会、事務局などと話し合いながら、具体的なプラン作りを行うことになる。

→11月の理事会の日に、加盟団体や委員会の委員が参加できる第二回目の機会を設定することを了承した。

### 【次回開催予定】

10月7日 (火) 19:00~21:00 名古屋 NGO センター事務所にて

以 上